

行政書士や税理士など「士業」に携わる

石川県内の若手が、それぞれの専門領域にまたがった相談にスピーディーに対応するためのチーム「金沢次世代士業団」を設立した。メンバー9人が連携し、相続や企業経営といった幅広い分野にわたる相談に多面的に助言する仕組みで、士業間の壁を取り払い、あらゆる悩み事に応じていく。

金沢次世代士業団代表で保険代理店を経営する金曾充孝さん(31)によると、各種士業は業務が細かく分かれており、顧客から「誰に相談すればいいのかわからない」という声を聞くことが多い。複数の士業を訪ねて何度も同じ話をしなければならず、手間も費用も余計にかかるケースがある。

「何でも相談できて、スムーズに問題解決につながる体制をつくりたい」と金曾さんが金沢市近郊の各士業の若手に声を掛け、4月にチームを結成した。集まったのは行政書士、税理士のほか、公認会計士、土地家屋調査士、社会保険労務士、宅地建物取引士、弁護士、司法書士で全員が30〜40代だ。

一元的な窓口は設けず、9人全員が窓口の役割を果たす。メンバーが聞いた相談の情報は9人で共有されるため、利用者は最初の「窓口」で迷う必要がなく、それぞれの悩みに適した士業からの回答が得られる。同様の団体は県内に例がないという。

税理士の野村篤史さん(36)

# 多彩な相談に多面的助言 「次世代士業団」結成

行政書士、税理士、会計士…

## 金沢の若手 迅速対応

は、夫を亡くした女性から相続税申告の依頼を受けたケースで、行政書士の中川幸雄さん(36)と連携。口座解約や戸籍謄本の入手などを中川さんが担当

した。野村さんは「限られた時間で膨大な資料を集めなければいけないが、依頼者は無理なく手続きできた」とメリットを説く。

メンバーは毎月、定例会を開いて意見交換しており、中川さんは「自分が所属する業界以外の最新の動きを把握でき、顧客への適切なアドバイスに生かせる」と話した。

金曾さんはメンバーの若さが強みだとし「相続を考えている人や、会社を継承したり、起業したりした同世代の人たちを一生涯サポートしていきたい」と意欲を示した。



意見を交わす金沢次世代士業団のメンバー―金沢市内

聖火に期待  
能登に膨らむ

東京  
登空港  
先駆け  
スター  
のほ初  
本番へ

